

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別演習Ⅰ（Environmental Information Engineering SeminarⅠ）		
ナンバリングコード	R30401	大分類／難易度 科目分野	環境情報学専攻／応用レベル
単位数	2	配当学年／開講期	1年／通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M001101	クラス名	西村研究室
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、 履修条件	大学院の研究活動の一環として、議論を通して習熟を深めます。 研究に対して積極的に自らの考えを発言することが求められます。		
教科書	研究内容に応じたテキストを指定します。		
参考文献及び指定図書	日本建築学会計画系論文集、日本建築学会九州支部 研究報告、日本建築学会学術講演梗概集		
関連科目	建築設計特論A、B		

○基本情報		
授業の目的	特別研究を遂行するために求められるテキスト解釈力と論文の構築力を養うことを目的とします。 建築学の中でも特に建築論・建築意匠分野という専門領域に焦点を絞り、高度な知識と技術に関する学修を行うとともに、大学院生の各自が実際に着手する研究を円滑に遂行することを目的に多 方面から議論します。 議論を通じて、自発的、創造的に研究を切り開いていくためのヒントを得ることを目的とします。	
授業の概要	研究を行うにあたって重要な既往研究のレビューを行います。 適切な報告ができるように、テキスト読解力を養うとともに、テキスト解釈の要領を指導します。 テキスト解釈にともなう既往研究の内容について議論を行います。 研究主題に関連する既往研究の概要を網羅的に理解することをめざします。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリーⅠ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	日本建築学会の既往研究のレビューができる。			30%
【ディプロマ・ポリシー②】	建築論・建築意匠の問題群を理解し、自ら課題設定ができる。			30%
【ディプロマ・ポリシー③】	建築論・建築意匠の学問分野で立てた課題に対して論考を深めることができる。			40%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
フィードバックは、適宜行います。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineering） 西村 謙司	授業コード	M001101
学修内容				
1. 授業について 環境情報学特別演習 I の授業内容の説明を行います。 授業の目的, 内容, 進め方を説明します。 研究テーマ設定に際しての注意事項の解説を行います。				
予習	各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習	各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
2. 研究主題について 研究主題の限定。 研究の方向性について説明します。				
予習	研究主題の限定のための予備調査。			約2時間
復習	研究主題の限定に基づく、研究指針の検討。			約2時間
3. 既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してもらいます。 既往研究の調査を行い、類型化してまとめる。				
予習	既往研究の調査、および類型化。			約2時間
復習	既往研究の調査、および類型化。			約2時間
4. 既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してもらいます。 既往研究の調査を行い、類型化してまとめる。				
予習	既往研究の調査、および類型化。			約2時間
復習	既往研究の調査、および類型化。			約2時間
5. 既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してもらいます。 既往研究の重要論文の読解。				
予習	重要な既往研究の選定。			約2時間
復習	重要論文の読解とまとめ。			約2時間
6. 既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してもらいます。 既往研究のレビュー。				
予習	既往研究の類型化と、重要論文の位置づけの確認。			約2時間
復習	既往研究のレビューをまとめる。			約2時間
7. 既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してもらいます。 既往研究のレビュー。				
予習	既往研究の類型化と、重要論文の位置づけの確認。			約2時間
復習	既往研究のレビューをまとめる。			約2時間
8. 既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してもらいます。 既往研究のレビュー。				
予習	既往研究の類型化と、重要論文の位置づけの確認。			約2時間
復習	既往研究のレビューをまとめる。			約2時間

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineering）	授業コード	M001101	
		担当教員	西村 謙司			
学修内容						
9. 調査について 文献調査と実地調査の二つの調査について説明します。						
予習		調査方法に関して調査を行う。			約2時間	
復習		調査方法の具体的検討を行う。			約2時間	
10. 調査について 文献調査と実地調査の二つの調査について説明します。						
予習		調査方法に関して調査を行う。			約2時間	
復習		調査方法の具体的検討を行う。			約2時間	
11. 調査 文献調査と実地調査を行います。 文献の読解を行う。実地調査を行う。						文
予習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
復習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
12. 調査 文献調査と実地調査を行います。 文献の読解を行う。実地調査を行う。						文
予習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
復習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
13. 調査 文献調査と実地調査を行います。 文献の読解を行う。実地調査を行う。						文
予習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
復習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
14. 調査 文献調査と実地調査を行います。 文献の読解を行う。実地調査を行う。						文
予習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
復習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
15. 調査 文献調査と実地調査を行います。 文献の読解を行う。実地調査を行う。						文
予習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
復習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
16. 調査 文献調査と実地調査を行います。 文献の読解を行う。実地調査を行う。						文
予習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	
復習		文献調査、実地調査を行う。			約2時間	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineering） 西村 謙司	授業コード	M001101
学修内容				
17. 調査				
文献調査と実地調査を行います。 献の読解を行う。実地調査を行う。				文
予習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
復習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
18. 調査				
文献調査と実地調査を行います。 献の読解を行う。実地調査を行う。				文
予習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
復習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
19. 調査				
文献調査と実地調査を行います。 献の読解を行う。実地調査を行う。				文
予習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
復習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
20. 調査				
文献調査と実地調査を行います。 献の読解を行う。実地調査を行う。				文
予習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
復習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
21. 調査				
文献調査と実地調査を行います。 献の読解を行う。実地調査を行う。				文
予習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
復習 文献調査、実地調査を行う。				約2時間
22. 分析				
文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析し、総合的に研究結果をまとめる。				
予習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じてまとめる。				約2時間
復習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析する。				約2時間
23. 分析				
文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析し、総合的に研究結果をまとめる。				
予習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じてまとめる。				約2時間
復習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析する。				約2時間
24. 分析				
文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析し、総合的に研究結果をまとめる。				
予習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じてまとめる。				約2時間
復習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析する。				約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineering） 西村 謙司	授業コード	M001101
学修内容				
25. 分析				
文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析し、総合的に研究結果をまとめる。				
予習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じてまとめる。				約2時間
復習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析する。				約2時間
26. 分析				
文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析し、総合的に研究結果をまとめる。				
予習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じてまとめる。				約2時間
復習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析する。				約2時間
27. 分析				
文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析し、総合的に研究結果をまとめる。				
予習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じてまとめる。				約2時間
復習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析する。				約2時間
28. 分析				
文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析し、総合的に研究結果をまとめる。				
予習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じてまとめる。				約2時間
復習 文献調査と実地調査で得られた結果を研究目的に応じて分析する。				約2時間
29. 総括				
研究の方法、材料、立場、視点、調査の進展具合についての報告				
予習 研究内容の報告準備。				約2時間
復習 研究報告後の再検討と訂正。				約2時間
30. 総括				
研究の方法、材料、立場、視点、調査の進展具合についての報告				
予習 研究内容の報告準備。				約2時間
復習 研究報告後の再検討と訂正。				約2時間
31.				
予習				約2時間
復習				約2時間
32.				
予習				約2時間
復習				約2時間